

4. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

人口減少による使用料収入の減少傾向が今後も続くことが予想されます。一方で管路や施設の老朽化による改築・更新の費用、維持管理費の増加が見込まれることから、将来の経営環境は一層厳しい状況になることが予想されます。このような状況で事業を安定的に運営するためには、計画の進捗管理や収支計画と実績の比較・検証を行うことが欠かせません。そのために概ね5年を区切りとして、計画内容の更新を行います。

本市では料金改定に伴い、毎年料金改定の成果を決算報告時に市の附属機関である関市上下水道事業経営審議会で審議して頂き、5年に1度料金水準を検証することとしております。経営戦略についても関市上下水道事業経営審議会で審議して頂くこととなっておりますので、そこでの議論の結果も事業運営に反映することとしております。